

令和5年
奥能登林業労働災害防止取組強化月間

木を切っても足元への気は切らさずに！
達成しよう ゼロ災害



令和5年 3月15日(水) ~ 4月14日(金)

特別重点期間: 3月20日(月) ~ 4月7日(金)



主唱: 穴水労働基準監督署

後援: 林業・木材製造業労働災害防止協会 石川県支部 穴水分会



奥能登で林業に従事される皆様へ

奥能登の林業現場における労働災害の発生件数は、令和四年は、六件と前年と同じ発生件数となり、令和二年と比較すると高い水準にあります。

さらに、林業については、災害が起る頻度や、災害が起きたとき作業者が受ける負傷の重篤度が、他の産業に比べて高いといった特徴もあることから、林業災害防止の一層の徹底が求められているところです。

過去十年間の奥能登地区での災害発生状況を見ますと、災害の種類では、チェーンソー作業中の「切れ・こすれ」災害や、伐木作業中に伐木の下敷きになる「崩壊・倒壊」災害や、地山で足を滑らせる「墜落・転落」災害等が多く発生しており、発生時期では三月から六月にかけて最も多く発生しています。

また、石川県内の林業現場では、過去十年の間に、労災事故で四人の尊い命が失われており、そのうち三名が奥能登地区で発生し、このうち二名の事故は、三月下旬及び四月上旬の間に発生しています。

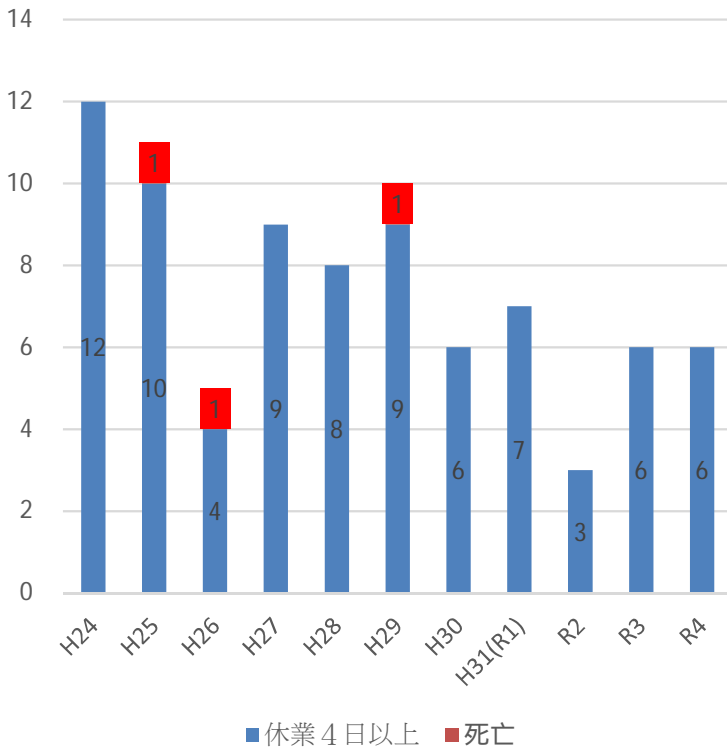
このような状況を踏まえ、当署では、本年も三月十五日から四月十四日までの一か月間を「奥能登林業労働災害防止取組強化月間」と位置づけ、中でも重大災害の発生率が高い三月二十日から四月七日を「特別重点期間」として、林業に従事する皆様への注意喚起をはじめ、事業者等による自主パトロールの実施促進などに集中的に取り組むこととしております。

皆様方には、これからの一か月間が重大災害の発生率が極めて高い時期であることを意識していただき、労使協力のもとと重点的に災害防止活動に取り組んでいただくことで、安全最優先の意識をさらに定着させていただきますようお願いいたします。

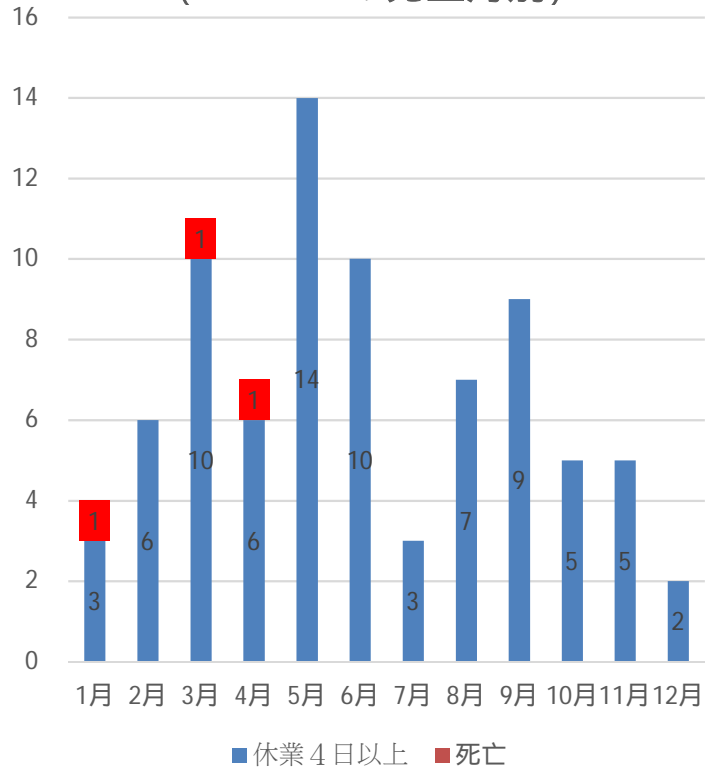
令和五年三月十五日

穴水労働基準監督署長 小正剛

奥能登農林災害発生状況 (発生年別)



奥能登林業災害発生状況 (H24～R4の発生月別)



管内状況

奥能登農林災害は、災害発生件数は平成24年から令和4年まで若干の減少方向で推移しています。しかし、奥能登地域では過去の統計結果から3月～4月に死亡災害が集中する傾向があり、特に警戒が必要な時期となります。

このリーフレットでは、令和4年に発生した奥能登地域で発生した災害事例を掲載していますので、実際に発生した災害を見ながら、林業作業の安全について改めて考えていただき、日頃の安全作業に役立てていただければ幸いです。

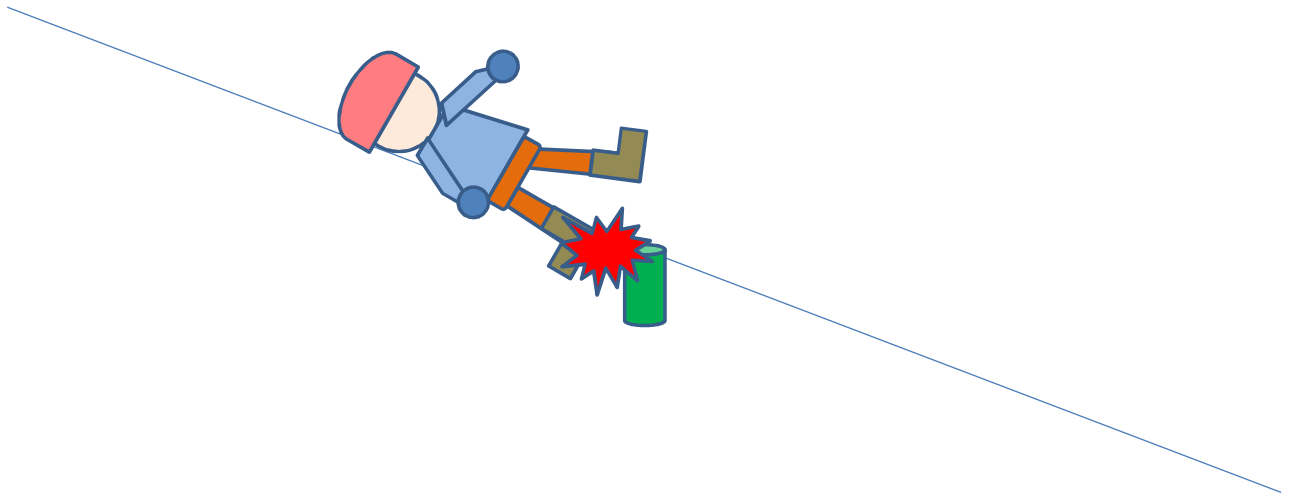
労働災害事例①

【発生年月】 R 4 . 2

【起因物】 その他の環境等

【事故の型】 墜落、転落

【概要】 竹林において、竹の伐採作業中、斜面上方の竹を伐採しようと斜面（積雪約60cm）を登っていたところ、雪に足を滑らせ滑落し、斜面下方の伐採済み竹の切断面に足が接触し、切創した。



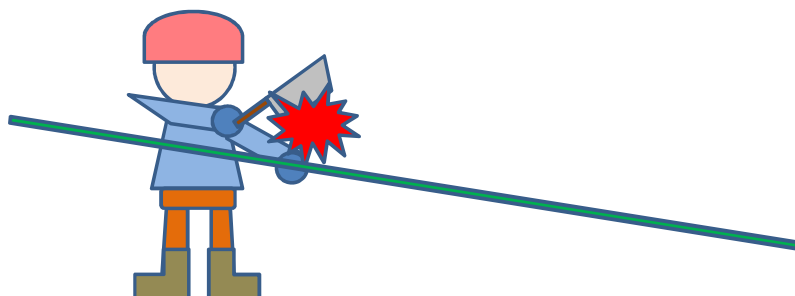
労働災害事例②

【発生年月】 R 4 . 2

【起因物】 手工具

【事故の型】 切れ、こすれ

【概要】 小型チェーンソーで伐採・剪断した竹の先端部分の枝を除去するため、竹の元口部分途中を左手で握り、右手に持った鉈鎌で切除していたが、蔓が巻き付いていたため数回鉈鎌を振り下ろした際、左手の親指先端に当たり切創した。



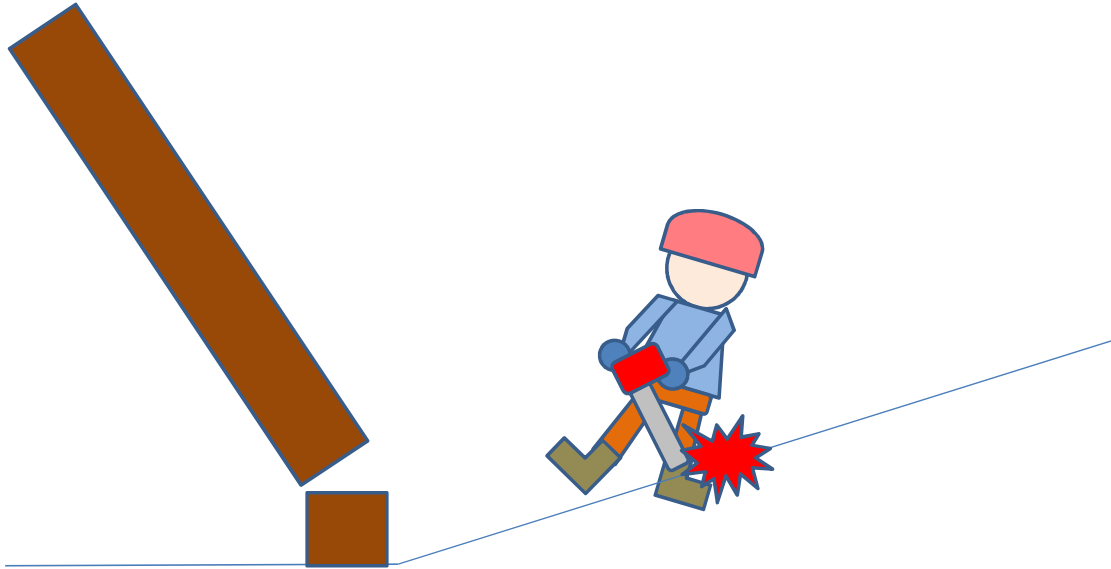
労働災害事例③

【発生年月】 R4. 4

【起因物】 チェーンソー

【事故の型】 切れ、こすれ

【概要】 雑木（樹高6m、胸高直径16cm）を伐倒し、傾斜約30度、法面2mの上方に退避しようとしたところ、足を滑らせ、バランスを崩し、チェーンソーの刃が足の甲に接触し切創した。



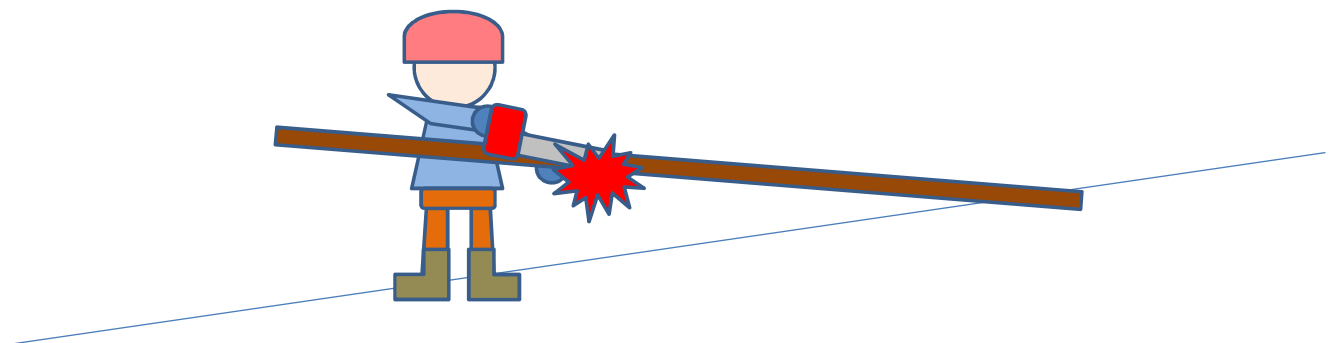
労働災害事例④

【発生年月】 R4. 5

【起因物】 チェーンソー

【事故の型】 切れ、こすれ

【概要】 勾配約25～30度のスジ林の斜面で枝打ちの作業中に、支障となる雑木を除去するために左手で直径約2～3cmの雑木を持ち、右手に持った小型チェーンソーで切ろうとアクセルを開いたところ、チェーンソーの刃が雑木の上を滑り、手の甲に当たり切創した。



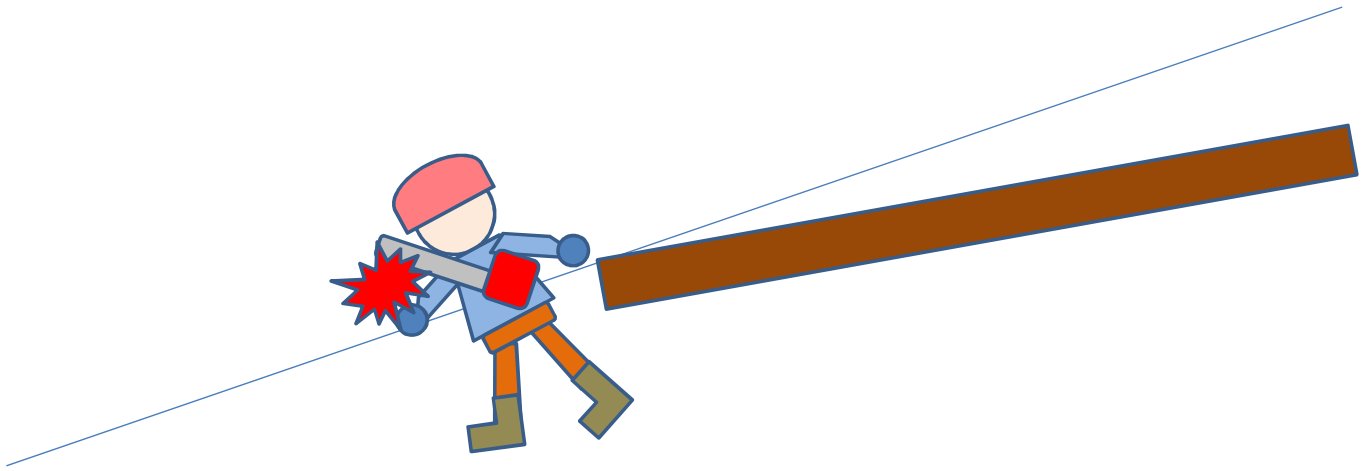
労働災害事例⑤

【発生年月】 R4. 10

【起因物】 チェーンソー

【事故の型】 切れ、こすれ

【概要】 急な斜面で、チェーンソーを用いて間伐材の枝払い作業を行っていた際、間伐材が斜面下方へ動いたため慌てて逃げようとしたところ躓き、手放したことで安全装置が働いて止まりかけたチェーンソーの刃に右腕が接触し切創した。



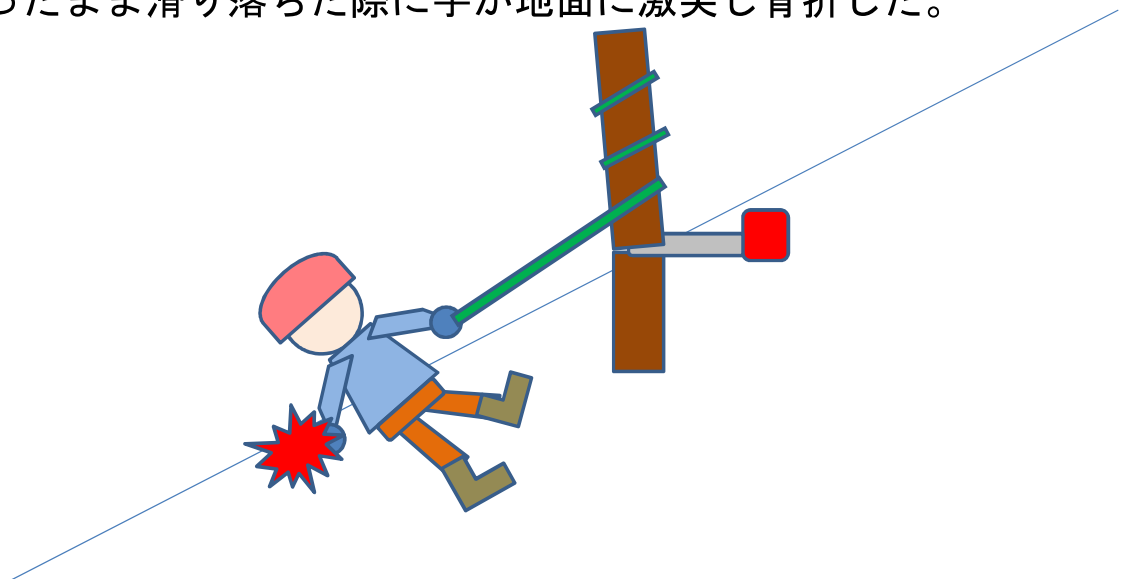
労働災害事例⑥

【発生年月】 R4. 10

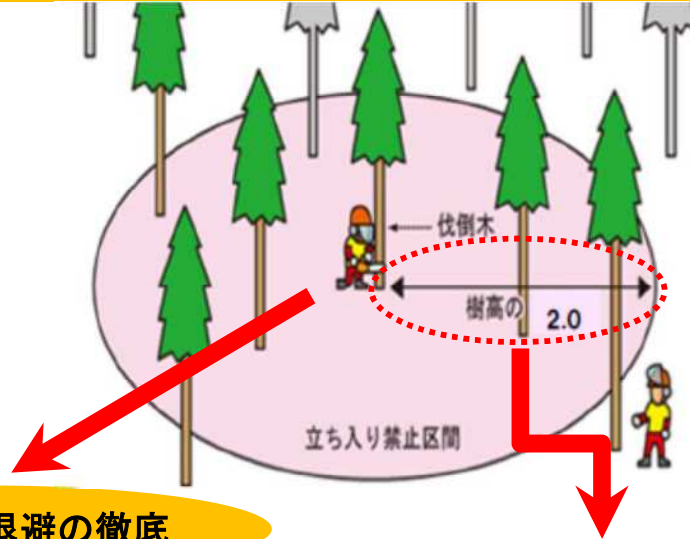
【起因物】 地山、岩石

【事故の型】 墜落、転落

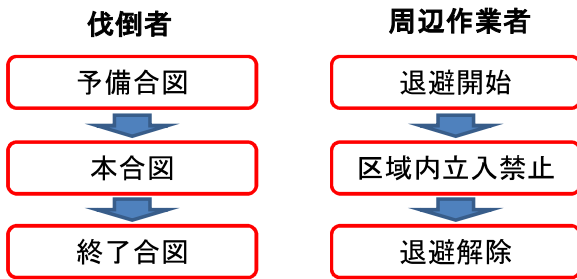
【概要】 法面で立木の伐採作業中、伐採木の追い口にチェーンソーが挟まり、外すために伐採木に絡まったツルを引っ張った時足元が滑り、ツルを持ったまま滑り落ちた際に手が地面に激突し骨折した。



安全のポイント① 伐倒時の退避を徹底しよう！



合図による退避の徹底



伐倒者以外の労働者は**立ち入り禁止**

伐倒木の激突を防ぐ一番の対策は十分に離れることです！速やかな退避のため、かん木・枝条等の障害物はあらかじめ取り除きましょう。

安全のポイント② 安全な服装と保護具を着用しよう！



チャプス型



チェーンソー作業用防護衣の実験



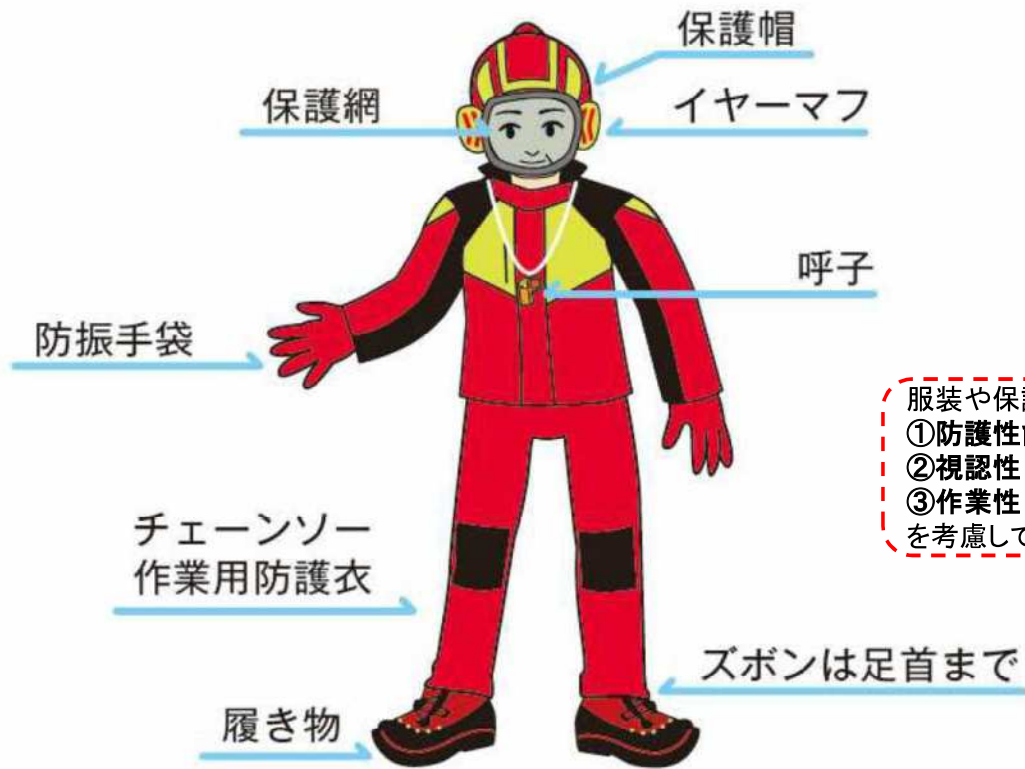
スポンタイプ

防護衣の着用は、チェーンソーとの接触から身体を守るために大変重要です！必ず着用しましょう！！

ひとこと

チャプスなどの防護衣は、中の繊維がチェーンソーの駆動部分に絡まってチェーンの回転を止める仕組みです。そのため、洗濯機による脱水や乾燥機による乾燥をすると繊維の偏り・繊維の傷みが生じ、防護衣として機能しなくなることがあります。製品にもよりますが、チャプスの手入れは、手洗い・自然乾燥が基本ですので、手入れの際には十分に気をつけてください。

安全のポイント② 安全な服装と保護具を着用しよう！



服装や保護具を選ぶ際は、
①防護性能
②視認性
③作業性
を考慮して選定する

安全のポイント③ 熱中症を防止しよう！

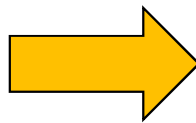
熱中症のピーク

梅雨明け 7月～8月

午後2時から午後4時

作業の初日・2日目

熱中症を防ぐには？



熱中症の症状がでたときは？

①暑さに慣れる期間(順化期間)を設ける

暑熱環境での作業時間は少しずつ伸ばし、7日程かけて体を慣らす。作業中断があった場合は4日目以降から耐性は失われるので、再度順化を行う。

②水分と塩分をこまめに、強制的にとる

水分だけでなく塩分も発汗により失われているため、意識的に摂取する。水分と塩分が同時に摂れるスポーツドリンクや、塩分だけを特に塩飴などで補充する。

喉の渇きとは関係なく、20分おきに150mlほどのペースで定期的に飲む。

※お茶やコーヒーは利尿作用があり、かえって水分を失うため、熱中症対策としては避ける。

③健康状態を維持する

十分な睡眠ときちんとした食事をとって健康に気を付ける。風邪、下痢、二日酔いといった体調不良は脱水状態に陥りやすいため危険。

④暑さそのものを退治する

日陰を作る、水を撒く、送風するといった方法で熱にさらされない環境を作ったり、熱中症防止グッズの利用や服装の工夫で暑さを和らげる。



首や足の付け根など太い血管を冷やすのが効果的

通気性良い生地、襟元開放

吸汗・速乾素材

保冷服

冷却用保護具



安全のポイント④ アナフィラキシーショック防止しよう！

アナフィラキシーショック

急性の全身性アレルギー症状により血圧低下や意識障害が発生し、生命に危機のある状態

アナフィラキシーを起こす代表的な蜂



ミツバチ



アシナガバチ



スズメバチ

蜂刺され患者月別推移



蜂の活動が活発になる夏から秋に被害が集中

蜂に刺されて症状が現れるまで

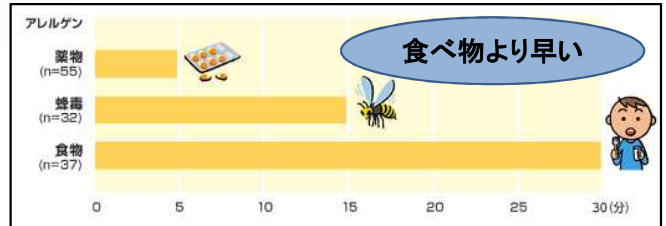
約15分



※個人差あり

全身症状から心肺停止まで

約15分



食べ物より早い

応急処置

アドレナリン自己注射器の使用

- ・事前に医師による処方が必要
- ・他人への譲渡は禁止
- ・あくまで応急処置であり、急ぎ医療機関を受診すること



自己注射剤